

(学年) 第1学年, (教科・科目) HR活動・人権教育

協働学習

(単元) よりよい人間関係を築くために

(本時のねらい)

最近、LINE等のSNSを使ってコミュニケーションを取ることが日常的にある。SNSは、対面のコミュニケーションに比べ相手の気持ちを把握しにくいいため、誤解を招いたり、会話を終わらせるタイミングが難しくなったりするなどトラブルのもとになることもある。そこで、差別や偏見につながる言葉や表現が、普段の学校生活で聞き逃されたり、見過ごされたりしていることはないかを考えることで、互いの人権に配慮した信頼できる人間関係を築き、また、人間関係を修復していく力を養うことをねらいとして授業を実践した。

(ICT活用方法)

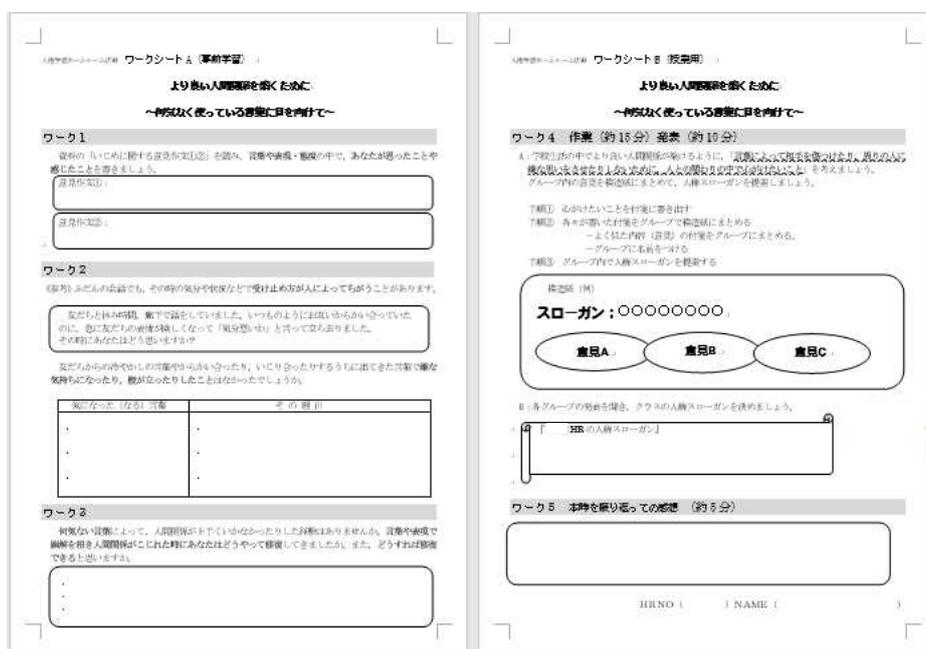
パワーポイントを利用して実施事項の説明などを行った。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導上の留意点	ICT活用方法	備考
導入 (5分)	・アイスブレイク(流れ星)を実施する。	・グループ内で各自が書いた絵を共有する。 ・アイスブレイクを通じて、同じ言葉でも個人の主観によって捉え方が違うことを感じさせる。	・アイスブレイクの実施方法をパワーポイントで説明	
展開 (40分)	①【ワークシートA】 事前学習した内容をグループ内で共有する。 数グループの意見を取り上げる。 ②【ワークシートBワーク4】 A) よりよい人間関係を築くために心掛けたいことをワークシートAの内容をふまえて各々で考えて付箋に記述する。	・学校生活の中にも差別や偏見につながる言葉が見過ごされていないか考えさせる。 ・言葉に対する捉え方や考え方に違いがあり、身の回りで使う言葉や表現にも相手や周囲の人への配慮が必要と考えさせる。 ・言葉によって生じた誤解は自ら働きかけ仲間の協力を得ながら話し合い修復し、信頼関係を築き直すことに気付かせる。	・実施事項をパワーポイントで説明。 ・KJ法のイメージ図をパワーポイントで提示	

	<p>B) 付箋に記述した内容をグループで模造紙にまとめる。人権に配慮したよりよい人間関係を築くためのスローガンを各グループで考える。</p> <p>C) グループの意見を発表する。クラスの人権スローガンを決定する。</p>	<p>・よりよい人間関係を築くには、身の回りで使っている言葉や表現にも相手や周囲の人への配慮が必要だと理解させる。</p>		
<p>まとめ (5分)</p>	<p>【ワークシートB ワーク5】</p> <p>・信頼できる人間関係を築く上で互いの人権に配慮することや修復していく力も必要であることを理解し、本時の感想を書く。</p>	<p>・身の回りで使う言葉や表現にも相手や周囲の人への配慮が必要であり、信頼関係を築き、修復していくためには話合いの場をつくる必要があると気付かせる。</p>		

(授業の様子)



使用したワークシート

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

KJ法を使い意見をまとめる作業を実施したが、パワーポイントを利用してKJ法のイメージ図を示したことで、生徒はスムーズに作業に取りかかっていたと。ただ、パワーポイントでのみ説明をして板書を残さなかったため、大事なポイントを生徒に残せるように、パワーポイントで説明する部分と板書をする部分のバランスを今後は改善していきたい。